

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                    |            |  |
|---------|--------------------|------------|--|
| 事業所番号   | 3690300011         |            |  |
| 法人名     | 社会福祉法人 小松島敬和会      |            |  |
| 事業所名    | グループホーム ひかり        |            |  |
| 所在地     | 徳島県小松島市坂野町字櫛のべ35番地 |            |  |
| 自己評価作成日 | 平成21年11月16日        | 評価結果市町村受理日 |  |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://kaigo.tokushakyo.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3690300011&amp;SCD=320">http://kaigo.tokushakyo.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3690300011&amp;SCD=320</a> |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                               |  |  |
|-------|-------------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会             |  |  |
| 所在地   | 徳島県徳島市中昭和町1丁目2番地 県立総合福祉センター3階 |  |  |
| 訪問調査日 | 平成21年12月9日                    |  |  |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

季節に応じてお花見や初詣、節分、クリスマス会などの行事を充実させている。食事の準備や畑作業、壁飾り等を職員と一緒にしたり、レクリエーションも多くのバリエーションを取り入れたりしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は田園風景が広がるのどかな環境の中に位置し、窓からは田植えや稲刈り等、地域の人たちが働く四季折々の様子を見ることが出来る。医師である代表者は、利用者の健康面や生活の質を重視し、週2回の訪問診療を実施したり、毎日の食材に新鮮な魚肉や野菜の使用を奨励するなど、安心と住み心地のよさを考慮している。管理者やリーダーは事業運営に熱意をもち、職員の資質、サービスの質の向上に関して代表者と日常的に話し合い、職員が事業所内外の研修会へ参加しやすいよう配慮している。また、職員は利用者が馴染み深い地域の中で、天候のよい日には散歩を楽しんだり、買い物やイベントへの参加を支援するなど個々の自己決定や意向を尊重した穏やかなケアに努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  | 項目  | 取り組みの成果<br>↓該当する項目に○印  |
|--|--|---|--|
| 56<br>職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | <input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない | 63<br>職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | <input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57<br>利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | <input checked="" type="radio"/> 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64<br>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | <input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58<br>利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | <input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65<br>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | <input checked="" type="radio"/> 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59<br>利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)  | <input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66<br>職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | <input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60<br>利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | <input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67<br>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | <input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61<br>利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | <input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68<br>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | <input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62<br>利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | <input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |   |  |

## 自己評価および外部評価結果

| 自己                 | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |   |
|--------------------|-----|--|--|--|---|
|                    |     |  | 1階<br>実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |  |  |  |   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                           | スタッフルームと玄関ホールに運営理念を掲示し、常に職員が確認できるようにして理念にそった介護を心がけている。                 | 理念はわかりやすい場所に掲示し、申し送り時には全員で確認している。利用者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう日々のケアに反映されている。                                |   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                           | 地域の運動会や文化祭に参加したり、地域のサークル活動に見学参加させていただいたりして交流している。                      | 地区の運動会や文化祭等に参加したり、散歩途中の人たちが立ち寄られることもあるなど、地域との関係性を重視した取り組みを行っている。しかし、近隣に民家が少なく、日常的な交流が図られるまでには至っていない。     | 職員は、民家が少ない環境の中で、地域住民との友好的な関係の構築に努めているが、さらに目標達成に向けて取り組まれることを期待したい。 |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                         | 今まで培ってきた実践経験を活かし、地域におけるケアの拠点となるよう努めている。                                |  |   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている      | 運営推進会議で出た意見については職員間で話し合い、サービスの質の向上に努めている。                              | 運営推進会議は利用者や家族、市担当職員、地域代表者等が参加し、2か月毎に開催されている。会議毎にテーマが決められ、食中毒や外部評価、事業報告、計画、防災や地域交流等について双方向的に話し合いが行なわれている。 |   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる                | 小松島市介護福祉課と連携を密にとり、情報交換等を行っている。   | 管理者やリーダーは、日頃から事業所の取り組み状況を市担当職員に報告し、運営上の困りごとに関しても気安く相談したり、アドバイスをもらうなど連携が図られている。                           |   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 禁止行為については全職員が正しく理解している。また防止委員会を月1回開催し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。              | 事業所は、隣接する同法人と合同で毎月防止委員会を開催し、身体拘束等の排除、玄関に鍵をかけないケアに向けて全職員で取り組んでいる。   |   |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている      | 高齢者虐待防止関連法の資料を基に研修を行い、全職員が注意を払うよう心がけている。また資料は誰でもが見られるようにスタッフルームに置いてある。 |  |   |

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----|-----|--|---|---|-------------------|
|    |     |  | 1階<br>実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 日常生活自立支援事業や成年後見制度についての資料を基に研修を行い、必要な人にはそれらを活用できるような体制をとっている。また、資料は誰でもが見られるようにスタッフルームに置いてある。 |   |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 新規契約を結ぶ時や利用者の状態悪化等によって、契約解除または改定等の時は家族等に懇切丁寧に説明し、理解を得るようにしている。                              |   |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 玄関受付に相談箱を設置している。また、相談、苦情等に対する窓口として担当者を配置している。   | 職員は、利用者や家族が意見等を伝えやすいように、来訪時や運営推進会議の際には話しやすい雰囲気づくりを心がけている。出された要望等は職員間で話し合い、日々のケアに活かしている。 |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 毎朝行っている申し送り時に意見等がある場合には話し合い、施設運営に反映させている。   | 管理者やリーダーは、日々の申し送り時や勉強会、会議等で出された職員の意見、要望等をもとに代表者と話し合うなど運営に反映させるよう取り組んでいる。                |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 資格取得に応じて手当が支給される体制をとっている。また資格取得後は、職員が職務に活かせるように努めている。                                       |   |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 併設施設や近隣施設で現場研修できる体制をとっている。また、法人内外の研修会にも参加している。  |   |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 関連法人のグループホームの行事等に参加したり、反対に来訪していただいたりして交流を図っている。   |   |                   |

| 自己                          | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|-----------------------------|-----|--|--|--|-------------------|
|                             |     |  | 1階<br>実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |  |  |                   |
| 15                          |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 本人の状況を把握して、訴えがある時にはよく傾聴し、安心されるよう声かけを行っている。           |  |                   |
| 16                          |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 入居時に困っていることや不安なこと、要望を伺って意向にそえるよう努めている。               |  |                   |
| 17                          |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | カンファレンスを行い、職員が意見を出し合って見極め、サービスを導入するよう努めている。          |  |                   |
| 18                          |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 調理、洗濯等の家事や畑作業等を一緒に行うことで、ともに過ごし支え合う関係を築いている。          |  |                   |
| 19                          |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 面会時等に日々の生活状況を伝え、また家族等と本人が日々の状況を話し合えるような関係づくりを行なっている。 |  |                   |
| 20                          | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 自由な時間での面会や外出等により、これまでの関係が途切れないような支援をしている。            | 職員は利用者の意向を尊重し、馴染みの美容院へ出向いたり、自宅周辺に足を運び懐かしい風景や知人に出会うこともあるなど、個々の生活習慣にそって支援している。 |                   |
| 21                          |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | レクリエーション、行事、食事など利用者同士が関わり合えるような状況を多くつくるようにしている。      |  |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|------------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
|                                    |      |  | 1階<br>実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 入院等で退居された方にはお見舞いを欠かさず、また元気な方には行事の際などに遊びに来ていただけるように連絡している。    |  |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |  |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 日常生活の中で、できるだけ一人ひとりの方と話す機会をつくり、その中から利用者の希望や意向を把握するよう努めている。    | 職員は、利用者一人ひとりとのコミュニケーションを大切に、思いや意向の把握に努めている。意思疎通が困難な方には、家族や関係者から情報を得るようにしている。 |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 家族等からは入居前やそれぞれの面会時に、利用者からは日常の会話の中でこれまでの生活に関する情報を得て、把握に努めている。 |  |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 日々の過ごし方や心身の状態をよく観察して記録し、現状を把握したうえで毎日のケア、支援を行なっている。           |  |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 毎日の申し送りの中から課題を取り上げ、チームケアやカンファレンスを行ない、それに基づき介護計画を作成している。      | 介護計画は、日々のケアでの職員の気づきやカンファレンス等での検討内容、利用者や家族の思いや要望等が盛り込まれ、本人本位に作成されている。         |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 個別の記録はできるだけ細かく記入し、全職員で利用者へのケアについての情報を共有し、実践するよう努めている。        |  |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 併設の施設や事業所も活用し、活動の場を広げて本人、家族等の要望に応じるようにしている。                  |  |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|------|---|--|--|-------------------|
|    |      |   | 1階<br>実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 近くの保育園や小学校、ボランティアと連携をとり、協力しながら支援している。また警察や消防署とも連携がとれるようにしている。        |  |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 関係医療機関があり、往診を受けられるよう支援している。またかかりつけ医への通院介助等の支援をしている。                  | 本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。また、医師である代表者の訪問診療が毎週あり、状況に応じて他の医療も受けられるよう柔軟な支援が行なわれている。          |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 協力医療機関と医療連携体制をとり、相談や日常の健康状態についての助言をもらっている。また往診時には、看護師にも相談している。       |  |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 関連する法人の3事業所が相互に連携をとり、状況等を把握し合うことにより、早期に退院できるような体制をとっている。             |  |                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 本人にとっての最善策は何かを、本人や家族等、かかりつけ医と話し合い、連携をとるようにしている。                      | 利用者や家族の意向を踏まえ、かかりつけ医、職員等で話し合い、重度化した場合や終末期ケアのあり方、事業所の対応等について確認し合うなど方針の共有が図られている。        |                   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 緊急時や事故発生時のマニュアルを作成し、全職員が把握している。マニュアルはいつでも誰でもが見られるようにスタッフルームに置いてある。   |  |                   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 緊急時のマニュアルを作成し、全職員が把握している。防災訓練を実施したり専門家の講習を受けたりしている。地域の消防署とも連携をとっている。 | 防災マニュアルを作成し、訓練は利用者と一緒に年3回行い、同法人と合同でも実施している。また、日頃から消防署との連携が図られ、冬季には地区消防団による見守りが行なわれている。 |                   |

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
|                                  |      |  | 1階<br>実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |   |  |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 訪室時にはドアをノックしている。特に排泄、入浴時にはドアやカーテンを閉める等、配慮している。                    | 職員は利用者一人ひとりの人格や気持ちを尊重し、自己決定しやすい言葉かけ、さりげないケアを心がけている。個人情報保護に関しては、外部からの来訪者に対する秘密漏れ等に留意し、管理の徹底に努めている。      |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 本人の目線に立って希望を傾聴し、希望にそった支援ができるよう努めている。                              |  |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 日ごろから声かけや傾聴することによって、利用者の希望をかなえられるように努めている。                        |  |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 更衣の時には、本人に選んでもらうようにしている。  |  |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | おやつ作りをしたり、配膳、下膳や食材などの下ごしらえも一緒にしたりしている。                            | 利用者はお気に入りのエプロンを着用し、食材の下ごしらえや配膳、下膳等を職員と一緒に楽しんでいる。職員は、利用者をさりげなく助けながら、アットホームな雰囲気づくりを心がけ、和やかな食事タイムを支援している。 |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | その人の状態に合わせて食器を軽いものにしたたり、お粥や刻み、とろみ食にしたりにしている。また味付けは本人の希望に応じて変えている。 |  |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 毎食後の口腔ケアは、自力でできる方はしていただき、できない方は職員が手伝っている。また週に一度は義歯洗浄を行なっている。      |  |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----|------|---|---|--|-------------------|
|    |      |   | 1階<br>実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 一人ひとりの体調等の状態や排泄パターンを把握し、個別に対応している。  | 職員は利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、自尊心や体調等に配慮しながら自立支援に向けて取り組んでいる。  |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 排便チェック表を作成し、一人ひとりの排便パターンを把握している。状況に応じて下剤の服薬調節を行っている。また水分補給や食事摂取量の把握、体を動かすことに心がけて支援している。 |  |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                        | 本人の希望や体調に合わせて入浴時間や順番、お湯の温度などを決定し、入浴支援を行っている。また暑い日にはシャワー浴、寒い日にはゆっくりと体を温めていただいている。        | 入浴の日時や順番、お湯の温度等は一人ひとりの希望や生活習慣にそって決められている。またその日の体調によって、本人の意向を確認しながら清拭や足浴等を行なうなど、柔軟に対応している。                    |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 昼夜逆転しないように、天気の良い日には散歩や外気浴を行い、気持ちよく眠れるように支援している。   |  |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | スタッフルームに処方薬状況を掲示し、全職員が理解できるようにしている。また調剤薬局からいただいた薬情報、副作用についても全職員が把握できるようにしている。           |  |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 利用者の生活歴や趣味を活かし、畑作業や家事をしていただいている。  |  |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | ドライブやショッピング等、本人の希望に応じた外出を支援している。また散歩等への支援をし気分転換できるように心がけている。                            | 事業所周辺はのどかな自然環境に恵まれ、天候のよい日には毎日散歩に出かけている。またドライブやショッピング、桜や梅、花菖蒲等の花見や初詣など、季節毎に楽しめる戸外での活動も積極的に取り入れ、日常的な外出を支援している。 |                   |



| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|--|--|---|-------------------|
|    |      |  | 1階<br>実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 利用者が希望した場合には、自己の責任において持っていただくように支援している。  |   |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 希望時には電話をしていただいたり、手紙のやり取りができるように支援している。   |   |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ホールや廊下にソファを置き、談笑や世間話をしやすいようにしている。和室ではこたつ机を置き、くつろいでいただけるようにしている。また季節に応じた花を生けたり、壁飾りをしたりしている。 | ホールは明るく、窓外に広がる田園風景は馴染み深く、懐かしさが感じられる。フロアには山茶花が生けられ、季節を感じながらそれぞれの居場所でくつろぎ、テレビを見たり、気の合う者同士で談笑するなど、ゆったりと居心地のよい生活の場が提供されている。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 一人になりたい方は自分の部屋や和室、ホールのソファなどで自由に過ごせるようにし、気の合う方同士でも思い思いに過ごしていただけるようにしている。                    |   |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 自宅から家具等を持ってきていただき、本人と一緒に使いやすく安全性に配慮した配置にしたり、好きな写真や置物を飾っていたりしている。                           | 居室には、ベットや箆笥など馴染みの家具が持ち込まれている。神棚を祀られている利用者もおられ、本人の希望や状態に応じて和室・洋室が選べるなど個々の生活様式にそった支援がされている。                               |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | トイレや浴室、廊下、階段には手すりをつけている。エレベーター内にも手すりがついており、車椅子でも利用できるようになっている。また全館バリアフリーになっている。            |   |                   |

## 自己評価および外部評価結果

| 自己                | 外部  | 項目  | 自己評価   | 自己評価 | 自己評価 |
|-------------------|-----|---|--|------|------|
|                   |     |   | 2階<br>実践状況   | 実践状況 | 実践状況 |
| <b>I 理念に基づく運営</b> |     |   |  |      |      |
| 1                 | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                            | スタッフルームと玄関ホールに運営理念を掲示し、常に職員が確認できるようにして理念にそった介護を心がけている。                 |      |      |
| 2                 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している                            | 地域の運動会や文化祭に参加したり、地域のサークル活動に見学参加させていただいたりして交流している。                      |      |      |
| 3                 |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                          | 今まで培ってきた実践経験を活かし、地域におけるケアの拠点となるよう努めている。                                |      |      |
| 4                 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている       | 運営推進会議で出た意見については職員間で話し合い、サービスの質の向上に努めている。                              |      |      |
| 5                 | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる                  | 小松島市介護福祉課と連携を密にとり、情報交換等を行っている。   |      |      |
| 6                 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 禁止行為については全職員が正しく理解している。また防止委員会を月1回開催し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。              |      |      |
| 7                 |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている       | 高齢者虐待防止関連法の資料を基に研修を行い、全職員が注意を払うよう心がけている。また資料は誰でもが見られるようにスタッフルームに置いてある。 |      |      |

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価  | 自己評価 | 自己評価 |
|----|-----|--|---|------|------|
|    |     |  | 2階<br>実践状況  | 実践状況 | 実践状況 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 日常生活自立支援事業や成年後見制度についての資料を基に研修を行い、必要な人にはそれらを活用できるような体制をとっている。また、資料は誰でもが見られるようにスタッフルームに置いてある。 |      |      |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 新規契約を結ぶ時や利用者の状態悪化等によって、契約解除または改定等の時は家族等に懇切丁寧に説明し、理解を得るようにしている。                              |      |      |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 玄関受付に相談箱を設置している。また、相談、苦情等に対する窓口として担当者を配置している。   |      |      |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 毎朝行っている申し送り時に意見等がある場合には話し合い、施設運営に反映させている。   |      |      |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 資格取得に応じて手当が支給される体制をとっている。また資格取得後は、職員が職務に活かせるように努めている。                                       |      |      |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 併設施設や近隣施設で現場研修できる体制をとっている。また、法人内外の研修会にも参加している。  |      |      |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 関連法人のグループホームの行事等に参加したり、反対に来訪していただいたりして交流を図っている。   |      |      |

| 自己                         | 外部  | 項目   | 自己評価   | 自己評価 | 自己評価 |
|----------------------------|-----|--|--|------|------|
|                            |     |  | 2階<br>実践状況   | 実践状況 | 実践状況 |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |  |      |      |
| 15                         |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 本人の状況を把握して、訴えがある時にはよく傾聴し、安心されるよう声かけを行っている。           |      |      |
| 16                         |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 入居時に困っていることや不安なこと、要望を伺って意向にそえるよう努めている。               |      |      |
| 17                         |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | カンファレンスを行い、職員が意見を出し合って見極め、サービスを導入するよう努めている。          |      |      |
| 18                         |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 調理、洗濯等の家事や畑作業等を一緒に行うことで、ともに過ごし支え合う関係を築いている。          |      |      |
| 19                         |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 面会時等に日々の生活状況を伝え、また家族等と本人が日々の状況を話し合えるような関係づくりを行なっている。 |      |      |
| 20                         | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 自由な時間での面会や外出等により、これまでの関係が途切れないような支援をしている。            |      |      |
| 21                         |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | レクリエーション、行事、食事など利用者同士が関わり合えるような状況を多くつくるようにしている。      |      |      |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 自己評価 | 自己評価 |
|------------------------------------|------|--|--|------|------|
|                                    |      |  | 2階<br>実践状況   | 実践状況 | 実践状況 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 入院等で退居された方にはお見舞いを欠かさず、また元気な方には行事の際などに遊びに来ていただけるように連絡している。    |      |      |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |      |      |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 日常生活の中で、できるだけ一人ひとりの方と話す機会をつくり、その中から利用者の希望や意向を把握するよう努めている。    |      |      |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 家族等からは入居前やそれぞれの面会時に、利用者からは日常の会話の中でそれまでの生活に関する情報を得て、把握に努めている。 |      |      |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 日々の過ごし方や心身の状態をよく観察して記録し、現状を把握したうえで毎日のケア、支援を行なっている。           |      |      |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 毎日の申し送りの中から課題を取り上げ、チームケアやカンファレンスを行ない、それに基づき介護計画を作成している。      |      |      |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 個別の記録はできるだけ細かく記入し、全職員で利用者へのケアについての情報を共有し、実践するよう努めている。        |      |      |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 併設の施設や事業所も活用し、活動の場を広げて本人、家族等の要望に応じるようにしている。                  |      |      |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 自己評価 | 自己評価 |
|----|------|---|--|------|------|
|    |      |   | 2階<br>実践状況   | 実践状況 | 実践状況 |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 近くの保育園や小学校、ボランティアと連携をとり、協力しながら支援している。また警察や消防署とも連携がとれるようにしている。        |      |      |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 関係医療機関があり、往診を受けられるよう支援している。またかかりつけ医への通院介助等の支援をしている。                  |      |      |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 協力医療機関と医療連携体制をとり、相談や日常の健康状態についての助言をもらっている。また往診時には、看護師にも相談している。       |      |      |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 関連する法人の3事業所が相互に連携をとり、状況等を把握し合うことによって、早期に退院できるような体制をとっている。            |      |      |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 本人にとっての最善策は何かを、本人や家族等、かかりつけ医と話し合い、連携をとるようにしている。                      |      |      |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 緊急時や事故発生時のマニュアルを作成し、全職員が把握している。マニュアルはいつでも誰でもが見られるようにスタッフルームに置いてある。   |      |      |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 緊急時のマニュアルを作成し、全職員が把握している。防災訓練を実施したり専門家の講習を受けたりしている。地域の消防署とも連携をとっている。 |      |      |

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価  | 自己評価 | 自己評価 |
|----------------------------------|------|--|---|------|------|
|                                  |      |  | 2階<br>実践状況  | 実践状況 | 実践状況 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |   |      |      |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 訪室時にはドアをノックしている。特に排泄、入浴時にはドアやカーテンを閉める等、配慮している。                    |      |      |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 本人の目線に立って希望を傾聴し、希望にそった支援ができるよう努めている。                              |      |      |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 日ごろから声かけや傾聴することによって、利用者の希望をかなえられるように努めている。                        |      |      |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 更衣の時には、本人に選んでもらうようにしている。  |      |      |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | おやつ作りをしたり、配膳、下膳や食材などの下ごしらえも一緒にしたりしている。                            |      |      |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | その人の状態に合わせて食器を軽いものにしたたり、お粥や刻み、とろみ食にしたたりしている。また味付けは本人の希望に応じて変えている。 |      |      |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 毎食後の口腔ケアは、自力でできる方はしていただき、できない方は職員が手伝っている。また週に一度は義歯洗浄を行なっている。      |      |      |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 自己評価 | 自己評価 |
|----|------|---|---|------|------|
|    |      |   | 2階<br>実践状況  | 実践状況 | 実践状況 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 一人ひとりの体調等の状態や排泄パターンを把握し、個別に対応している。  |      |      |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 排便チェック表を作成し、一人ひとりの排便パターンを把握している。状況に応じて下剤の服薬調節を行っている。また水分補給や食事摂取量の把握、体を動かすことに心がけて支援している。 |      |      |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                        | 本人の希望や体調に合わせて入浴時間や順番、お湯の温度などを決定し、入浴支援を行っている。また暑い日にはシャワー浴、寒い日にはゆっくりと体を温めていただいている。        |      |      |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 昼夜逆転しないように、天気の良い日には散歩や外気浴を行い、気持ちよく眠れるように支援している。   |      |      |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | スタッフルームに処方薬状況を掲示し、全職員が理解できるようにしている。また調剤薬局からいただいた薬情報、副作用についても全職員が把握できるようにしている。           |      |      |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 利用者の生活歴や趣味を活かし、畑作業や家事をしていただいている。  |      |      |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | ドライブやショッピング等、本人の希望に応じた外出を支援している。また散歩等への支援をして気分転換できるように心がけている。                           |      |      |



| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 自己評価 | 自己評価 |
|----|------|--|--|------|------|
|    |      |  | 2階<br>実践状況   | 実践状況 | 実践状況 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 利用者が希望した場合には、自己の責任において持っていただくように支援している。  |      |      |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 希望時には電話をしていただいたり、手紙のやり取りができるように支援している。   |      |      |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ホールや廊下にソファを置き、談笑や世間話をしやすいようにしている。和室ではこたつ机を置き、くつろいでいただけるようにしている。また季節に応じた花を生けたり、壁飾りをしたりしている。 |      |      |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 一人になりたい方は自分の部屋や和室、ホールのソファなどで自由に過ごせるようにし、気の合う方同士でも思い思いに過ごしていただけるようにしている。                    |      |      |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 自宅から家具等を持ってきていただき、本人と一緒に使いやすく安全性に配慮した配置にしたり、好きな写真や置物を飾っていただいたりしている。                        |      |      |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している   | トイレや浴室、廊下、階段には手すりをつけている。エレベーター内にも手すりがついており、車椅子でも利用できるようになっている。また全館バリアフリーになっている。            |      |      |